

12. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (沖縄)	◎	－	－	－
	○	スーパー（販売企画）	販売量の動き	・新型コロナウイルス禍により来客数減少と販売量アップで、売上はマイナスが続いていたが、今月は地域プレミアム付商品券や県のプレミアム付クーポン等の効果、また自社によるポイント倍セールを増やしたことにより販売量が増えている。うるう年であった前年との比較では営業日が1日減少となるが、売上は前年並みで終える予想である。
	○	コンビニ（経営者）	販売量の動き	・弁当や総菜の売上が増え、客単価が伸びている。
	○	通信会社（営業担当）	販売量の動き	・販売数が前年比110%と好調で、特に他キャリアからの乗換えが計画を上回り全体を引っ張っている。
	□	百貨店（店舗企画）	来客数の動き	・緊急事態宣言の発出で来客数が減少しているが、限定商品の販売等では、反応があり増加する。前年4月に比べ、感染防止対策が強化され、必要に応じて人の動きが柔軟になっているようにみられる。前年は2月から新型コロナウイルスの影響が出始め、前々年と比べ来客数がマイナス20%となったが、本年は更にマイナス20%となり、まだまだ回復には時間が掛かる。
	□	その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	それ以外	・緊急事態宣言発出に伴い2月28日までは午後8時までの営業となれば、居酒屋ではこれからという時間で終わりになり、ほとんど入客が取れないので、現在は宣言解除までは全店休業としている。金銭的な面と、スタッフのモチベーションを維持するのが極限に来ている。
	□	住宅販売会社（代表取締役）	販売量の動き	・個人住宅及び投資建築案件において一定の建築受注を行っている。
	□	住宅販売会社（役員）	販売量の動き	・沖縄県独自の緊急事態宣言の真っ只中で、売上及び客動向に変化はみられない。
	▲	一般小売店〔酒〕（店長）	販売量の動き	・具体的な新型コロナウイルスワクチン接種の開始や、自粛期間などが曖昧である。
	▲	スーパー（企画担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルス禍の影響で内食の恵方巻き関連は好調に推移する。その他旧正月や旧十六日需要は横ばいとなるも来客数の減少が続き、バレンタイン需要等で苦戦となる。
	▲	コンビニ（副店長）	来客数の動き	・緊急事態宣言解除の見通しはついてはいるが、週末や雨天時の来客数は激減している。また近隣の施設も約半数が休業していて人通りが全くない。
	×	商店街（代表者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスのワクチンができない限りは、景気及び売上の向上は難しい状況となっている。
	×	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・1月末からの沖縄県独自の緊急事態宣言発出以降、沖縄県を訪れる観光客、ビジネスマンの姿が激減、1日1000人以上だった来店客が700人程度に減少している。近隣住民も夕方以降は自粛モードとなったことも要因である。
	×	衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・そもそも人が歩いていない。客の財布のひもも固いし、緊急事態宣言下であることと、飲食店への時短要請などの影響で人の流れが完全に変わっている。景気が悪くなるのは当然である。
	×	観光型ホテル（代表取締役）	来客数の動き	・大都市の緊急事態宣言と沖縄独自の緊急事態宣言により、宿泊部門は旅行需要が低下し客室稼働率は前年が84%のところ15%と低迷し、飲食部門の時短営業、営業自粛により夜の宴会は0件である。最低の状況にあり、手も足も出ない状態である。
	×	観光型ホテル（企画担当）	販売量の動き	・Go To Travelキャンペーンにより前年11月のホテル販売室数が前年比27%増とプラスだったのに対し、緊急事態宣言の影響で休館したことにより2月の販売室数は前年比94%減とマイナスに転じている。
	×	旅行代理店（マネージャー）	販売量の動き	・もともと個人旅行の取扱は少なくGo To Travelキャンペーンの恩恵もそれほどないが、年末から今年に入ってから新規の個人旅行の予約がほぼない。非常に厳しい状況となっている。

	×	観光名所（職員）	来客数の動き	・観光客は増えていない。土日に沖縄県民が増えてきているが、そもそもの来客数が違う。
企業 動向 関連	◎	—	—	—
	○	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新築の仮契約が増えてきている。
(沖縄)	□	会計事務所（所長）	取引先の様子	・建設機材リースについても新規業務が先行き不透明となっており、既存事業終了の後が心配である。
	▲	窯業土石業（取締役）	受注量や販売量の動き	・公共工事、民間工事が減少傾向にあり、特に民間工事の需要が新型コロナウイルスの影響で低調である。
	▲	輸送業（経営企画室）	取引先の様子	・県独自の緊急事態宣言が延長され、外食関連の消費が減少している。
	×	食料品製造業（役員）	受注量や販売量の動き	・沖縄も緊急事態宣言が2月末まで延長され、観光客の激減と夜の飲食店の時短による影響が大きい。
雇用 関連	◎	—	—	—
	○	人材派遣会社（総務担当）	求人数の動き	・急募案件が増えてきてはいるが、人手不足感が否めないためマッチングが厳しい状況である。
(沖縄)	○	学校〔専門学校〕（就職担当）	求人数の動き	・新卒向けの求人が例年と変わらないくらい届いている。
	□	学校〔大学〕（就職支援担当）	求人数の動き	・前年までは2月にも新卒募集の追い込みがあったが、今年はほとんど話を聞かない。3月新卒の採用活動はおおむね終了したようである。
	▲	求人情報誌製作会社（営業）	求人数の動き	・前年11月と比較すると求人数は減少している。1月に発出された緊急事態宣言による影響で、企業における採用活動の停止継続、再開延長で求人数は減少している。飲食店を含む接客、サービス系の求人数は依然として増えていない。
	×	—	—	—